

重右工門池 ハザードマップ 新穂地区 新穂青木・新穂長畠

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。(決壊から最大60分後まで計算)

満水状態のため池の堤体が瞬時決壊(天端から池底まで)し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。(河川氾濫や内水氾濫は未考慮)

津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性が考えられます。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。(佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能)

●佐渡市地域防災マップ
(新穂・畠野地区版) 平成31年3月作成



地区避難場所
長畠活性化センター

佐渡縦貫線

指定避難所
行谷小学校体育館

重右工門池

ため池諸元	
※ため池台帳より	
築造年代	昭和時代
堤高	2.0m (1.9)
堤長	50.0m
天端幅	2.0m
貯水量	2,000m ³ (1,100)
受益面積	1.0ha
管理者	
※()内は、令和2年4月の計測値	
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差	

凡 例	
●	氾濫水の到達時間
ため池氾濫による最大浸水深	
3.0m以上の区域	
2.0~3.0m未満の区域	
1.0~2.0m未満の区域	
0.5~1.0m未満の区域	
0.3~0.5m未満の区域	
0.3m未満の区域	

N
縮尺 1:4,500
0 50 100 150 200 250 300m

地区避難場所
青木転作促進研修センター